

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年9月30日

【評価実施概要】

事業所番号	0173100298		
法人名	有限会社 アスト		
事業所名	グループホーム ほのぼのファミリー		
所在地	北海道上川郡東川町北町5丁目4番10号 (電話) 0166-82-5356		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年9月17日	評価確定日	平成21年10月16日

【情報提供票より】(平成21年8月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年2月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤	5人, 非常勤 5人, 常勤換算 7.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000円	その他の経費(月額)	20,000~25,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(75,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250円	昼食	300円
	夕食	350円	おやつ	1ヶ月 約1,000円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(8月29日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5	名				
要支援2	名				
年齢	平均 89.8歳	最低	85.4歳	最高	94.1歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東川町立診療所 豊岡内科整形外科クリニック
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営法人は高齢者有料ホームとデイサービスが併設され、高齢者福祉の複合的なサービスを提供しています。ホームの玄関にデイサービス利用者の手芸作品が展示され、壁には利用者と職員の似顔絵や法人主催の運動会や生活の様子の写真が飾られています。また、共用空間は広くゆったりと落ち着いた雰囲気が漂い、利用者と職員の家庭的で和やかな雰囲気が感じられ、利用者一人ひとりが安心して過ごせるよう取り組んでいます。サービス全体の向上と個々のスキルアップを目的として業務改善・学習・事故対策・感染対策など4つ推進委員会を設置し、日々研鑽を積んでいます。法人全体での行事のミニ運動会や祭りには地域の方々にも案内して多くの方々に参加して戴いています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題として、自己評価の取り組みについての点が挙げられましたが、全ての職員が参加して実施されケアを振り返る機会と捉えサービスの質の向上に取り組んでおり、真摯な姿勢で改善に取り組んだことが確認されました。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者及び職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解し、自己評価については、全ての職員が参加して実施されケアを振り返る機会と捉えサービスの質の向上に取り組んでいます。また、外部評価の結果については、周知して改善に活かされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議については2か月に1度定期的開催されています。メンバーは利用者、家族、役場職員、民生委員、管理者・職員で構成され行事やミニ運動会やホームの活動報告、職員の異動についての説明などを行いサービス向上に活かしています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりを心掛け、意見や苦情・相談が聞き取りしやすいよう取り組んでいます。また、出された意見や苦情は速やかに検討し改善に向けて取り組んでおり、事業所本体の運営懇談会・運営推進会議や行事の中で意見を聞く機会を作っています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	法人全体での行事の運動会や祭りには地域の方々にも案内して多くの方々に参加して戴いています。また、地域の盆踊りや焼き肉などに参加し交流を深めており、高校の学校祭や地域活性化事業、他のグループホームとの交流、老人保健施設、商工会主催の行事などへの参加を通じて地域の人達との交流が図られています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして「利用者の立場に立つて残存能力を引き出し、普段通りの生活を維持し、安心して過ごせるように支援します。」を運営理念として全職員でつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内の見やすい場所に掲示し、運営理念の他に職員間で具体的な理念を作成し、職員は常にそれらを携帯して日常の業務の中で共有されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人全体での行事の運動会や祭りには地域の方々に案内して多くの方々に参加して戴いている。また、地域の盆踊りや焼き肉などに参加し交流を深めており、高校の学校祭や地域活性化事業、商工会主催の行事などへの参加を通じて地域の人達との交流が図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解し、自己評価については、全ての職員が参加して実施されケアを振り返る機会と捉えサービスの質の向上に取り組んでいる。また、外部評価の結果については、周知して改善に活かされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については2か月に1度定期的開催されている。メンバーは利用者、家族、役場職員、民生委員、管理者・職員で構成され行事やミニ運動会やホームの活動報告など、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>担当者と運営推進会議以外にも出来るだけ行き来する機会を設け気軽に相談できる関係を築いている。また、ホームの行事にも参加を呼びかけるなどしてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用料金を毎月家族に持参して戴き、その際利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等、その都度報告しており「おたより」でも情報提供されている。また、状態変化についても都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>来訪時には、気軽に話せる雰囲気づくりを心掛け、意見や苦情・相談が言いやすいように取り組んでいる。また、出された意見や苦情は速やかに検討し改善に向けて取り組んでいる。事業所本体の運営懇談会・運営推進会議や行事の中で意見を聞く機会を作っている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や離職の際には、家族に報告し、その際に利用者にダメージを与えないよう工夫している。新しい職員との馴染みの関係を作るためにも、引継ぎの期間を設けるなど利用者への配慮がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員は法人内研修に積極的に取り組み、職員が交代で講師を担当するなど法人全体のサービスの質の向上に取り組んでいる。また、外部研修においてもグループホーム協議会や保健所主催のセミナー等へ積極的に参加している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、グループホーム連絡協議会での研修会等で交流を図りケアサービスの質を向上に取り組んでいる。また、お祭りや行事などで地元の他グループホームとの行き来があり、その際に情報交換や交流を図っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>サービスをいきなり開始するのではなく、利用前には、利用者・家族の見学や面談などで不安を解消する取り組みを行い、少しでも場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、みんなが好きな歌番組を一緒に見たり、ジグソーパズルや塗り絵などの趣味を一緒に行って喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1.一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの生活歴を踏まえ、本人や家族の意向や希望を把握し、職員間で情報を共有して本人の思いが実現出来るように支援している。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を活用して利用者との日常の会話や係わりの中で情報収集しアセスメントを行い、本人、家族の希望や意向、医師からの助言を介護計画に反映させている。また、課題は職員全員の意見や希望を取り入れ現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に計画的に見直しが行われている。また、利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<p>3.多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、要望に応じて、散歩や買い物、外食やドライブ、通院など柔軟に支援を行っている。また、隣接された有料老人ホームやデイサービスセンターの利用者同士の相互の交流が図られている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	往診が可能な医師が確保され、看護師が配置されて利用者の日々の体調を把握し、主治医との連携も密に行われている。また、かかりつけ医への受診や町立病院での予防接種など状況に応じ支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、家族の希望や意向があれば可能な限りホームで対応しており、かかりつけ医、利用者・家族とも早い段階から話し合いをしながら慎重に対応するよう全職員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に配慮した取り組みが行われている。また、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけや対応が行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースや体調、希望に合わせ、買い物や散歩、回転寿司などの外出の支援、食後の下膳や昼寝やリビングでテレビ・新聞を見たり、マッサージ機を使用するなど本人の希望やペースに沿って柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を取り入れ献立に反映させており、利用者と職員と一緒に食事を摂り、下膳など本人の希望や力量に応じて支援している。また、回転寿司などの外食の機会を設け食事が楽しみなものになるように取り組んでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に週2回の支援が行われ、入浴の長さや時間帯においても疾患等に配慮しながら希望に応じられるよう支援されている。また、その日の体調等で入浴できない場合には本人の要望を聴きながら清拭やシャワー浴で対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴を踏まえ、趣味のカラオケ教室や職員が録画した時代劇の番組、外出の機会として衣替えの季節に衣料店への買い物や回転寿司など気晴らしの支援がなされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個々の利用者の気持ちが把握され職員間で共有されている。また、一人ひとりの今の気持ちを尊重して買い物や散歩など本人の希望やペースに沿って支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、利用者の外出傾向は職員間で把握され、戸外に出る時は、遠くで見守したり一緒に同行したりしながら抑圧感を与えないように支援しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が設置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練を年2回実施されており、ウラに隣接する運送会社の協力も得られている。また、火災等の緊急時対応マニュアルと緊急連絡網も作成している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスやカロリーについては栄養士と相談しおおまかに把握されており、食事量、水分量は生活シートに記録されている。また、本人の状態に応じた食事の提供など利用者の状態変化に応じた支援が行われている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関先にはデイサービス利用者の作品が展示され、共用の空間の壁には、利用者、職員の似顔絵や行事や日常の様子の写真などが掲示され、テーブルや椅子などがバランスよく配置され、廊下や居間においても明るい日差しや窓からの風が心地良く入り、生活感や季節感が十分楽しめる雰囲気となっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた椅子やテーブルなどの家具や家族の写真などが飾られ、出入り口には好みでのれんも掛けられるなど、自宅の延長につながるように心掛けて居心地が良くなるように工夫している。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。